

			りそう表現活動を～
2014	消費税 8%		第 5 1 回「今こそ、子どもを真ん中に！」～子どもの心によりそう表現活動を～
2015	安全保障関連法成立		第 5 2 回「それ、ええなあ！」
2016			第 5 3 回「すべての子どもに表現する喜びと平和な未来を！」—子どものかけがえのない表現をていねいに聴き取り、共感する指導とは—
2017			第 5 4 回「すべての子どもに表現する喜びと平和な未来を！」—子どものかけがえのない表現をていねいに聴き取る指導と、手仕事の複雑で、豊かな造形表現活動を—
2018			第 5 5 回「それ、ええなあ！」—えがくこと つくることみんなのよろこびに
2019			第 5 6 回「すべての子どもに表現する喜びと平和な未来を！」
2020	新型コロナウイルス感染拡大	新型コロナウイルス感染拡大	夏の大会中止
2021			第 5 7 回対面・オンライン併用
2022		ロシアのウクライナ侵攻	第 5 8 回対面・オンライン併用「えがく つくるとともに喜び合う—大切にしたいのは、いのち 平和 人権 地球環境
2023		イスラエル・ガザ攻撃	第 5 9 回「えがく つくるとともに喜び合う—大切にしたいのは、いのち 平和 人権 地球環境
2024	日本原水爆被害者団体協議会 ノーベル平和賞受賞		第 6 0 回「見つけよう自分—素材と中間に出会う夏 2024」
2025			第 6 1 回「見つけよう自分—人格形成と結びつく保育・図工・美術・アートとは—

(実教出版・日本史 B 改訂版 日本国憲法が憲法研究会による憲法草案が影響を与えたという記述をしている唯一の教科書)

美術教育を進める会は、1959 年に発足しました。発達の研究が始まったのは 1968 年、その年に三島二郎先生による講演会を行っています。そこから、発達研究の様々な方向からの模索が始まりました。

今のような「人格の発達と結合した美術教育を進めよう」という言葉が美術教育を進める会の合言葉のように定着したのは 1980 年第 17 回大会でした。それから、この「人格の…」というテーマは、テーマというよりももっと大きな当たり前の目標として私たちの心の中にしみ込んで今日に至っています。

それからは、大会テーマは、その会場校の実行委員会のメンバーにより、個性の光った表現に変わります。そして、自然環境という言葉が加わったのが 1994 年、平和という言葉が加わったのが 2004 年です。いずれも、日本や世界の情勢を見据え、その年の大会で集まった全国のみなさんと語り合いたいという意気込みを感じます。美術教育を進める会は、その後、もう一度、目の前にいるひとりひとりの子どもへ寄り添い、一緒に喜び合うことの大切さへ目を向けていきます。それは、新型コロナウイルスによる分断の社会からも学んだこと、それが人が生きていくうえで本当に大切なことであったとの気づきでもありました。

敗戦後 80 年の、その 65 年間で、美術教育を進める会の先輩の方々は、その時その時に必要なものを感じて考えて学んで懸命に生きてきたのだと思いました。その最先端にいる私たちは、これからも目の前にいる子どもたちのために何ができるか、みなさんと一緒になって考えていきたいと思ひます。

(2025. 8. 3. 美術教育を進める会事務局長 石井 緑)